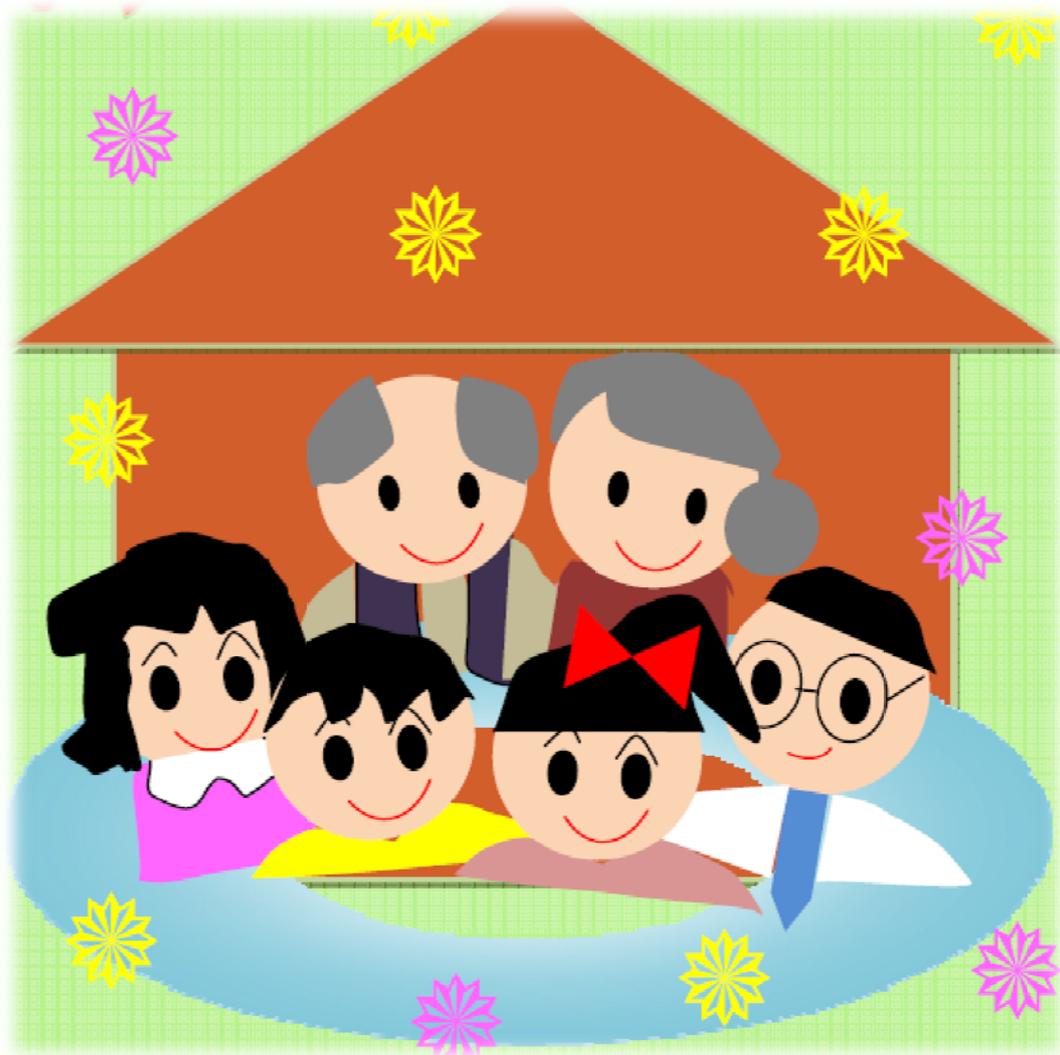


平成22年度

# 社会福祉振興助成事業 事業報告会・相談会

日時:平成22年10月25日(月)

会場:大阪社会福祉指導センター 5階 ホール



主催● **UAM** 独立行政法人福祉医療機構  
協力● 特定非営利活動法人 大阪NPOセンター  
社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会

本日の報告会につきましては、会場内での写真撮影を予定しております。  
なお、撮影した写真につきましては、当機構の機関紙等に掲載させていただく場合があります。

## 開催にあたって

独立行政法人福祉医療機構が実施する社会福祉振興助成事業では、政策動向や国民ニーズを踏まえ、NPOや非営利任意団体等、民間の創意工夫ある活動や地域に密着したきめ細かな活動等に対して助成を行い、高齢者・障害者が自立した生活を送れるよう、また、子どもたちが健やかに安心して成長できるよう必要な支援等を行っています。

また、国や地方公共団体などが行う公的な福祉サービスでは十分カバーすることができないニーズに対応するNPO、非営利任意団体等が行う草の根的な活動に助成し、団体とその活動を育成・支援するとともに、当機構が適切な情報提供、助言等の働きかけを行うことによって、NPO、非営利任意団体等が地域の福祉医療等の機関・団体等も含めて連携を深め、団体間の繋がりが醸成され、事業そのものの広がりが見られるよう支援しています。

そのような取組みの一環として、資金面での支援とともに、助成金によって実施された事業の中から、優れた事業について、事業の効果や活動のノウハウ等を、同様な活動を行う団体等に広く紹介、情報提供していくことが、重要であると考えています。

本日は、特定非営利活動法人大阪NPOセンター理事 山田 裕子 氏をお招きし、基調講演をいただくとともに、社会福祉振興助成事業（旧「長寿・子育て・障害者基金」）の助成を受けて事業を実施された団体の中から、先進的・独創的な事業や地域の実情に即したきめ細かな事業を行っている2つの団体に活動報告していただくことにしております。

本事業報告会が、福祉活動を実施する団体のさらなる活性化や情報の共有化、組織力の強化等に少しでもお役に立つ機会となれば幸いです。

独立行政法人福祉医療機構

# プログラム

## 1 ごあいさつ (13:00~13:10)

独立行政法人福祉医療機構 助成事業部 助成企画課長 桑原 謙治

## 2 基調講演 (13:10~14:10)

「経営の視点で市民活動を考えよう！」

特定非営利活動法人 大阪NPOセンター

理事・事務局長 山田 裕子 氏

～ 休憩 ～

## 3 事例報告及びパネルディスカッション (14:20~15:20)

・コーディネーター 山田 裕子 氏

・活動報告団体

(1) 有限責任事業組合 再生塾YAR

代表 吉見 れい 氏

「ユースシェルター創設及びマニュアル作成事業」

(2) 特定非営利活動法人 全日本企業福祉協会

理事長 丸岡 惇 氏

「団塊世代の高齢者元気づくりネット事業」

## 4 社会福祉振興助成事業の概要 (15:20~15:40)

## 5 平成22年度助成事業の紹介 (15:40~16:00)

## 6 助成事業個別相談 (16:00~16:30) ※希望者のみ

タイトル

# 「経営の視点で 市民活動を考えよう！」

(特活)大阪NPOセンター  
理事・事務局長 山田裕子

## 地域社会のあり方が問われる

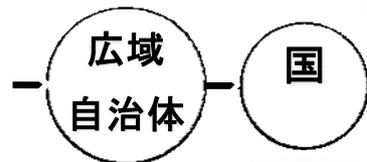
- ① 住民ニーズの多様化・複雑化
- ② 中央集権から地域主権へ  
補完性の原理

個人  
家族  
知人

コミュニティ  
市民活動

**民間**

基礎  
自治体



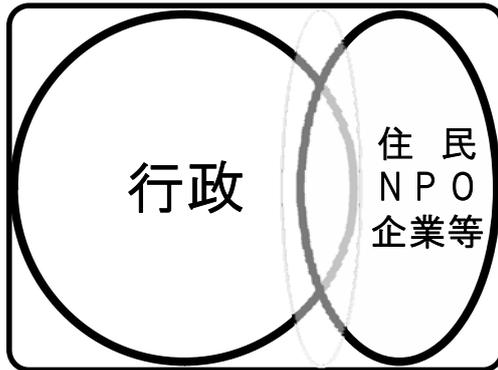
**行政**

- ③ 市民活動の高まり

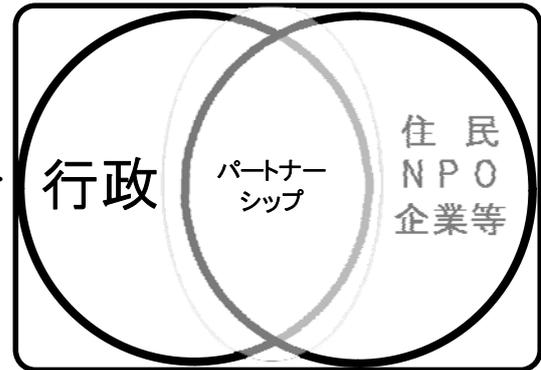
# 「新しい公共」の形成

- ① 公共サービスの現状
- ② 公共サービスの担い手における環境変化

## これまでの提供体制

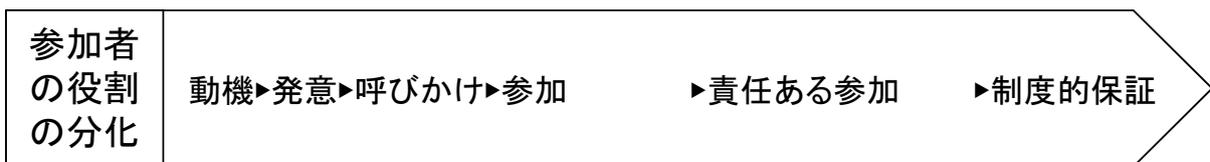
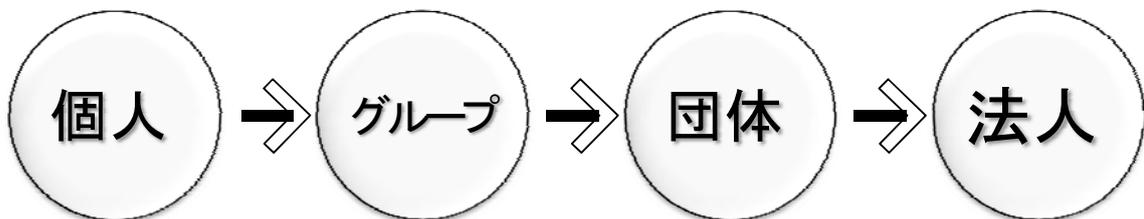


## これからの提供体制



# ミッションを組織化し経営するとは…

## 組織化の一般的な過程



**Passion**  
(人間的情熱)

**Mission**  
(社会的使命)

# 組織化の手法と手順

▶参加者の人間関係をどうつくっていくか

★地域活動、社会貢献活動の高まりのなか

•生きがい、楽しみ、仲間づくり

=サークル・生涯学習系

•社会貢献、地域貢献、サポート活動等=ボランティア系

•社会課題解決、雇用、地域活性化、継続・成長

=コミュニティビジネス系

▶ミッションの明確化

▶運動型か事業型か

•資金調達の仕方も変わる



**Mission**

(社会的使命)

運動型

事業型



# ☆バランスが大切

\* 4つの組み合わせ

- やりたいこと、楽しいこと
- 地域に良いこと、社会に必要なこと
- 活動を継続する、  
経済的に自立をする
- 地域の協力体制、ネットワーク

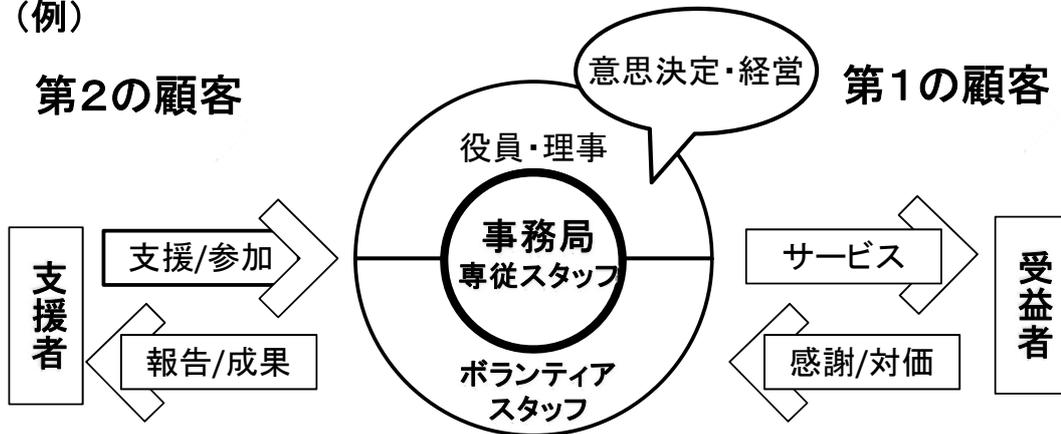
\* 収支のバランス

- 事業費(サービスや商品など)
- 会費
- 寄附
- 助成金、補助金
- 委託

(例)

第2の顧客

第1の顧客



ステーク・ホルダー(利害関係者)の範囲が広い=関係性の再構築=ビジネスチャンス

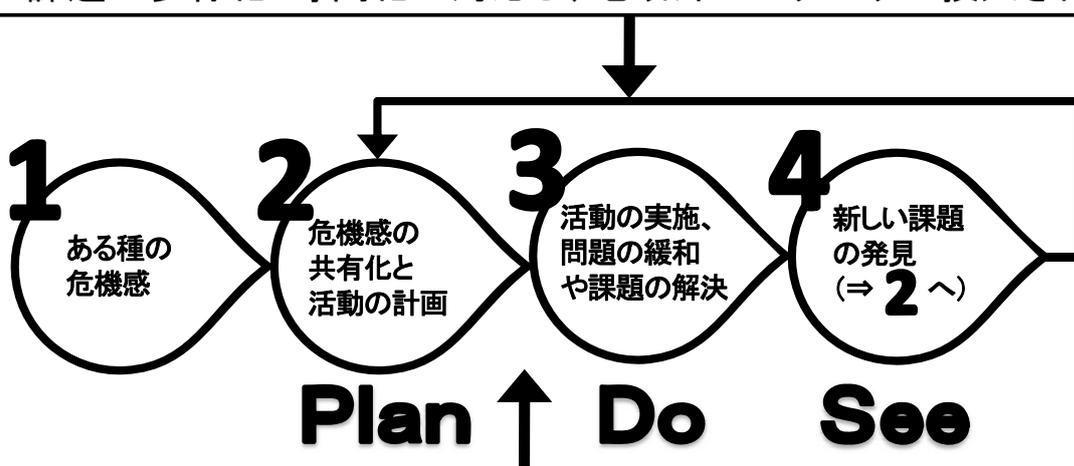
- 参加型経営
- 評価
- 顧客の多様性

第1の顧客・第2の顧客・第3の顧客

第2・第3の顧客の動向が成功に繋がる

## 今後のプロセス

課題の多様化・専門化に対応し、地域外のノウハウが投入される

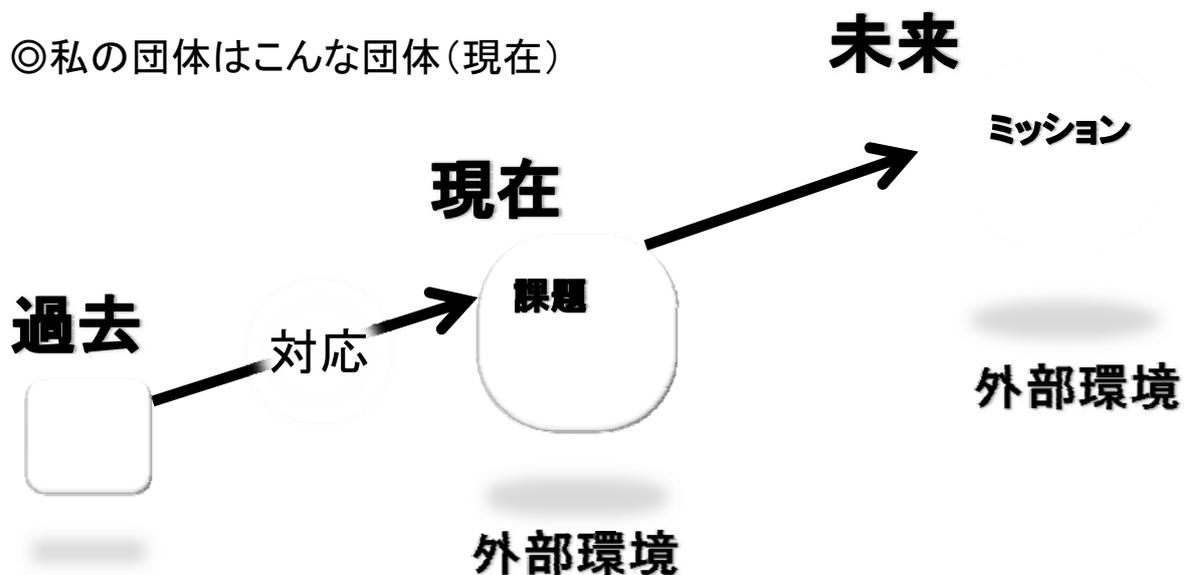


活動にあたり地域外のノウハウや人材が地域に投入される

結合型 → 橋渡し型

# 夢と理想・十年後の将来像(ビジョンと目標)

◎私の団体はこんな団体(現在)



## 平成22年度社会福祉振興助成事業報告会

「経営の視点で市民活動を考えよう！」

ご清聴ありがとうございました。

(特活)大阪NPOセンター  
理事・事務局長 山田裕子

「平成 22 年度 社会福祉振興助成事業」事業報告会  
ユースシェルター創設及びマニュアル作成事業

LLP（有限責任事業組合） 再生塾 YAR  
総合コーディネーター 吉見れい

## I. 団体の紹介

### ● ベースにある考え方

米国 N P O ・ インターンシップ、フェローシップ

Y A R = Youth As Resources : 若者は本来（良き）人材である

### ● 設立

2006 年 1 月 再生塾 YAR オープン（任意団体）

2006 年 4 月 有限責任事業組合として登記（組合員 4 人）

### 【助成金等】

2005 年度大阪市コミュニティー・ビジネスモデル助成

2005 年度大阪府社会起業ファンド

2006 年度トヨタ財団助成（Japan Youth Treasure House）

### ● 環境

➤ 町会長のサポート

➤ 古い下町・商店街

## I. 助成事業を始めようと考えたきっかけ

### ● 高校 2 年生のステイ（2007 年 8 月～2009 年 1 月）

親子関係の冷却期間

A D H D ? → 荒れる塾 → 塾と生活の分離の必要性

### ● 地域の空き家

町会長の提案と大家さんへの橋渡し

親元を離れて暮らす効果

## II. 助成金を利用するまでの経緯

### ● どこで知ったか

N P O 関係各種助成金情報

### III. 利用した事業

- ユース・シェルターの創設

- シェルターづくり(改装工事)

ボランティア・・・なかなか進まず7月入居者（サポーター）が手伝いながら8月末に完成

12月には風呂設置→ワンルームマンションから寄付

- 備品

家具：前の居住者（10年前の状態）、寄付

- コミュニティづくり・就労

商店街の店舗が協力（ガレージで台湾料理屋運営）

- マニュアルの作成

- 米国視察(2名)

ボストン、ニューヨークのシェルター

厳しいルール ← 行政の委託事業

緊急時の利用料無料（シャワー・食事・ベッドルーム）

- 利用者

2008年8月15日～10月12日（18歳女性）

連携団体の寮利用者・再生塾は保護者のカウンセリングを担当

6月に脱走・次の定着先をさがすサポート

有償ボランティアのサポーターが同居

2009年5月15日～8月25日（21歳男性）

一時的にはDV被害者のシェルターにも転用

### IV. 今後の展望

- 現在寮利用者

2010年3月14日～（26歳女性）

塾通いで利用（学習サポート・就労トレーニングへの連携）

知的障害で療育手帳取得（2009年7月）

ヘルパー派遣による生活全般サポート（塾のスーパーバイズ）

- 今後

当初から発達障害・知的障害の若者が多く、そのサポートのために、良い医療機関（精神科）や障害者団体、介護事業所、行政などとの連携が進んできたことと、ノウハウの積み重ねが進んできた。

これらを生かしたサポート活動を重ねて行きたい。



大阪市都島区内代町の民家をお借りして、地域社会、様々な団体、個人の皆さんとの関わりの中、塾は始まりました。

昔っばいあたたかい家庭のようなスペースです。ほっこりしながら、自分の夢の実現をしていってください。宿泊 OK です。



若者がガレージを改装してくれました。パーティ、個展、イベント、学習室なんでも使えます。レンタルします。

- ぼちぼち自立ってことも考えて見よう・・・
- 勉強やりなおしてみよう・・・
- そろそろ非行やめちゃおう・・・
- いろいろな人と出会って 自分らしい自立の形をさぐってみたい・・・

そんな若いあなたのために、

- ♥ 自分らしい目標づくりの支援
- ♥ その目標に向かって必要な社会資源（相談事業、高校卒業認定資格受験、資格取得、進学）をコーディネート
- ♥ 地域の中で（ボランティア等）、社会性を身につけ、自尊心を回復・形成

自尊心と学力のバランスを大切にします。

## LLP 再生塾 YAR

Supported by Japan Youth Treasure House  
& 社会福祉事務所由由 & 山王丸由起子 & 正木信二郎

〒534-0013 大阪市都島区内代町 2-7-3 6

Tel : 06-4305-7970

Fax : 06-4305-7971

メール : jyth@zeus.eonet.ne.jp

YAR サイト : <http://www7a.biglobe.ne.jp/~YAR>

JYTH サイト : <http://www5d.biglobe.ne.jp/~JYTH>

下記の助成を受けてスタートしました。

- ・ 2005 年度大阪市コミュニティー・ビジネスモデル助成
- ・ 2005 年度大阪府社会起業ファンド
- ・ 2006 年度トヨタ財団助成 (Japan Youth Treasure House)

地下鉄谷町線「野江内代」駅～徒歩 5 分



# LLP 再生塾 YAR

Youth As Resources



高卒認定取得（通信制・代々木高校サテライト）  
地域活動、ボランティア、イベント企画、  
さまざまな学びや感動に出会う場所  
自分らしい「自立の道」「セカンド・チャンス」を  
ここで見つけてみませんか？

再生塾 YAR は  
あなたのマイペースの  
チャレンジを応援します

## YAR

Youth As Resources の略。「若者は本来価値ある人材だ」という観点から、家庭や学校だけでなく、地域社会への関わりの中でこそ、若い力が多面的に成長することに着目し、若者の自発的な活動に支援するというのが YAR プログラム。全米犯罪防止機構が開発した子ども・若者主体のコミュニティプログラムで、自信を失っていても、非行歴があっても、彼らを「問題視」するのではなく、期待と信頼をかければ、必ず人の心に届くようになることを信じてサポートし続けるのが特徴です。自尊心をとりもどした若者は、学力もぐんぐん伸び、目標に向かって成長することを実証しています。

### 役員

吉見れい — 総合コーディネーター。JYTH 代表。

2000 年箕面市役所退職。在職中 1999 年夏日米 NPO インターンシップ・プログラムに参加。退職後 2001 年 3 月から 1 年間国際交流基金日米センター NPO フェローシップで、Youth at-risk (危機にあるユース) にフォーカスした NPO において研修。2003 年大阪教育大学大学院修了。小中高教員専修免許取得。

正木信二郎 — 青少年相談担当。DYS 代表

1998 年家裁調査官を退職。2000 年までの 2 年間日本女子大人間科学学部教育学科で非常勤講師。並行して『『非行』と向き合う親の会』世話人。少年事件付添い人ボランティアとしても活動中。

山王丸由紀子 — 地域コーディネーター担当

地域に根ざしたグループハウスを作ろうと地域の子供会活動、PTA 活動等で知り合った仲間と NPO フェリスモンテを立ち上げ。大阪元気ネットワーク理事、住民参加型在宅福祉サービス団体副代表幹事、大阪市宅老所グループハウス連絡会世話人代表。

蔭山剛志 — 福祉・教育環境整備担当

徳島大学工学部精密機械工学科卒。  
製版機器や半導体製造装置の開発設計を行う。ものづくりと福祉の融合を目指すことを決意「自由社会福祉士事務所」「自由設計」を開業。社会福祉士・福祉住環境コーディネーター・福祉施設第三者評価調査者。尼崎の高校でも授業を担当。

### 協力スタッフ・講師登録も随時受け付け中！

- 学習指導 (通信制高校学習、高校卒業サポート)
- キャンプ、野外活動リーダー
- 自主企画 (ボランティア・起業) サポーター
- 心理カウンセラー
- その他塾運営サポート

## 「再生」

「あなたを再生させる」  
なんてことは考えていません。

若者が元気になれば、若者が輝けば  
おとなが変わり、地域が変わり  
まちが再生され、日本の社会が再生され  
世界が再生される  
それが塾の理念です。

あなたがマイペースで学びと成長をつくること  
それを応援するのが再生塾 YAR です。  
あなたのための答えを一緒にみつけること  
それが私たちができる応援です。

## 塾生ひとりひとりの状況に合わせた 個別プログラム

自立、対人関係、学習など、次の一歩のために何から始めたらいいのかについて、塾生や塾生の環境などを考慮して相談しながら、プログラム・メニューを一緒に創りあげます。

A 君：20 才。高機能自閉症。昼夜逆転、ゲーム三昧、お金使い放題の毎日でしたが、YAR を通じて健康な生活を創り始めました。卒業後、2007 年 5 月から障害者就労移行支援施設で職業訓練を受け、現在アルバイトにチャレンジ中です。

B 君：19 才。「高校中退。高認資格をとったものの就職試験のために学ぶ場がほしい」。塾を自習に利用し、定期的に講師が、学習指導。無事合格し、2007 年 3 月から就職しました。

C さん：体調が弱く高校を欠席が多く単位不足。現在代々木高校の通信制で 2008 年 9 月みごと卒業です。

## 費用

- ・ 入会金 5 万円
- ・ 月謝 5 万円 (クーポン 2.5 万円分込み)  
追加クーポン 10,000 円 (手数料 2,500 円)

### 入会金について

入会金は、塾運営の基本的設備費等、塾運営の基礎をつくる協力金として活用させていただきます。

### 月謝について

運営費 2 万 5 千円、クーポン 2 万 5 千円を含みます。

### クーポンについて

学習支援の講師料、サポート費用 (担当者等経費) をクーポンで払っていただくシステムです。  
マンツーマンでも、グループでも可能。ともだちと一緒に同じ講師を囲んで勉強というスタイルも OK です。  
カウンセリングや相談、その他自主企画のための費用や食費 (パーティ参加費) としても利用できます。

## その他

状況、ニーズに応じて利用のしかたも相談させていただきます。

## レンタル・スペース

会合、パーティ、宿泊その他空き時間・空きスペースをレンタルします。ご相談ください。

## 寮 (シェルター)

塾の近くに女子用の住まいを提供。  
親子関係を冷ましたい時、自立生活の練習をしたい時など、ご利用いただけます。



入会や講師登録等お気軽にお問い合わせください。

## 特定非営利活動法人全日本企業福祉協会の概要

- ・ 平成4年 平田富太郎先生(社会事業大学第4代学長)を会長に企業福祉研究を目的に設立
- ・ 企業が従業員に使う福利厚生費に着目した研究
- ・ 退職後に影響のある施策 生活資金、健康、生きがい  
(生活資金は退職金・年金、健康づくりは特定健保制度でサポート、生きがいは退職前教育とOB会)
- ・ 退職後も含めた企業福祉の研究から、退職者組織活動研究
- ・ 平成14年 企業の退職者支援組織の研究会設立
- ・ 複数の企業の参加で、退職者の健康・生きがいづくり活動実施
- ・ 平成19年 特定非営利活動法人取得  
(退職者が地域社会をサポートしながら生き生きする社会の確立を目指して組織的な活動を開始)

### 特定非営利活動法人 全日本企業福祉協会 助成事業名「団塊世代の高齢者元気づくりネット事業」

消えた100歳問題が起こりました。  
子どもを何日も置き去りに出来る親がいました。  
現代の人間関係はそれに気づかないほど気薄でしょうか？

長寿社会のまちづくりは、高齢者が住み慣れた町で、病気をもちつつも医療・介護・地域ケアシステムの確立によって生き生き過ごせる町づくりを目指しています。

今回、報告します[団塊世代の高齢者元気づくりネット事業]は、今まで地域にいなかった退職団塊世代の元気パワーを地域のサポート体制に活用する仕組みづくりにあります。

自宅で生活する高齢者が歩いていける場所で、子育て世代・高齢者等の地域住民が集い、交流できる場面を退職団塊世代がサポートしようというものです。

## 退職団塊世代が行う必要性

- ・ 日本の人口構成は、2030年に75歳以上の割合が2200万人、人口割合20%の超高齢化社会。
- ・ 超高齢化社会での高齢者は団塊世代そのものであり、自身が生き活きと、安心して地域社会で老いることが出来る環境づくりが必要。
- ・ 高齢者として、元気に社会生活を送るために、地域医療・介護・地域福祉等の在宅ケアシステムが活用できるとともに地域住民同士の地域安心安全サポートが必要。
- ・ 団塊の世代が、親から離れ核家族世帯を構成し、子世代の巣立ちが済み、やがて、配偶者との別れが来て、いずれ、ひとり世帯がやってきます。
- ・ そのときに、隣近所の人と人とのつながりのなかで元気に生きることができる地域高齢者サポートシステムの稼働は、今、団塊世代自らの活動で構築が必要です。

## 退職団塊世代の支援

- ・ これからの自分の問題
- ・ 高齢期の安心づくり
- ・ 住む町の安全
- ・ 世代交流
- ・ 孤独の回避
- ・ ケアシステムの稼働
- ・ 人の役に立てる

団塊世代を活用する環境づくりは

- ・ 自分たちの住む町の健全化支援
- ・ 高齢者の悩み相談
- ・ 高齢者の孤独回避
- ・ 自身たちの高齢期の健全化づくり
- ・ 地域社会への貢献
- ・ 在宅ケアシステムのサポート
- ・ 他世代住民との交流

[平成21年度]  
団塊世代の高齢者元気づくりネット事業

事業の核になる人材の確保

NPO全日本企業福祉協会から会員企業のOB組織に呼びかけ

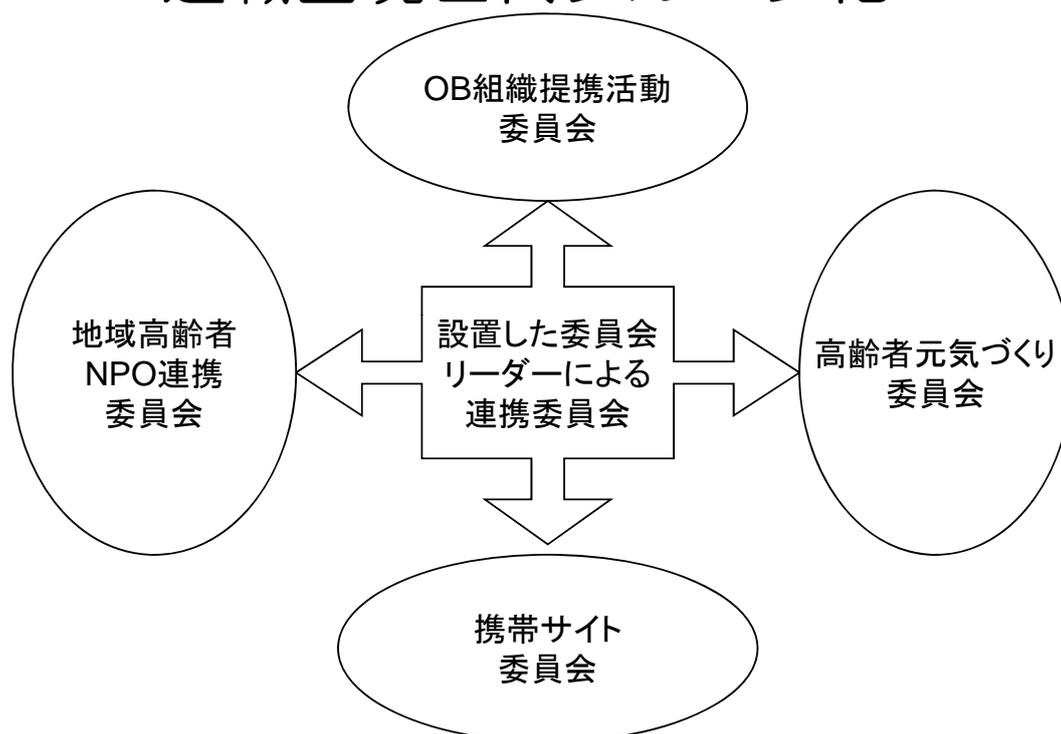
OB組織が退職者に声かけ

NPO全日本企業福祉協会へOB組織から対象者を報告

NPO全日本企業福祉協会から対象者に趣旨説明会の案内

事業内容に賛同した退職者が事業を推進

団塊世代の高齢者元気づくりネット事業のポイント  
退職団塊世代グループ化



## 企業OB組織提携委員会

- ・ 企業のOB組織へ参加依頼活動
- ・ 参加企業のOB組織から「団塊世代の高齢者元気づくりネット事業」趣旨説明を退職者に情報発信依頼活動
- ・ OB組織の集会等での趣旨説明活動

## 地域高齢者NPO連携委員会

- ・ 地域で高齢者支援活動するNPO組織との提携依頼活動
- ・ 地域で高齢者支援活動するNPO組織の活動情報収集活動
- ・ イベント共催実施提携活動

# 高齢者元気づくり委員会

- ・ 高齢者宅声かけ訪問
- ・ 元気づくりイベント開催
- ・ 高齢者支援活動実施団体とのイベント共催運営

## 地域交流イベント

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業  
吹田時代の高齢者元気づくりネット開始

### 笑顔のあふれるまちづくりXmasコンサート!

吹田を愛するNPOからのクリスマスプレゼント  
日本・ハンガリー交流年2009を記念して

#### ゲスト演奏

##### ニヤリ ギュラ (ピアノ)

1979年・79年 2回出身 1981年音楽院、1991年・94年音楽院  
卒業後30年以上を中心に活躍。

06年結婚を機に日本での演奏活動を始める。

##### ニヤリ みゆき (ソプラノ)

兵庫県・西宮市出身 大阪音楽大学卒業

06年ニューヨークの結婚を機にダンス・アート・ゲルメイスを設立。

自らのコンサートをプロデュース、演奏活動を行っている。



日時 12月26日15:00開演(開場14:30)

第一部 クリスマスソング/サンタが町にやってくる 15:00~15:40

第二部 吹田市で活動するNPO団体の紹介とビンゴゲーム大会15:40~16:00

第三部 日本の歌とピアノの調べ16:00~16:40

会場 吹田市立豊一市民センター2階

吹田市豊水町1-53-7 電話06-6384-1290

御堂筋線江坂駅下車7分 阪急電車豊津駅下車10分



入場無料 下記にてお申し込みください



申込方法 携帯電話のバーコードリーダー登録画面、または  
FAX06-7504-5090へ、お名前と入場者数を送信ください。

主催 特定非営利活動法人全日本企業福祉協会

吹田市豊水町1-53-20 エコ+担当若尾健児090-8963-8724

後援 ハンガリー大使館

協力 NPO健康生さがいづくり教室

# 連携元気づくりイベント

地域に元気なシニア達による生きがいづくり・サークル活動の幅が広がる

## おもちゃドクター養成講座〈初級編〉

特定非営利活動法人全日本企業福祉協会では、子どもたちに「もの」の大切さを伝えたり、おもちゃの仕組みを教えたり、壊れたおもちゃの修理をする『おもちゃのお医者さん』を養成する講座（受講無料）を日本おもちゃ病院協会と連携し開催します。

お子さんの壊れたおもちゃを持って集合下さい。持っていますよ。



日時：平成22年3月27日(土)午前10時～午後4時  
28日(日)午前10時～午後4時

会場：秋田市内本町コミュニティセンター

対象者：生きがいを求めボランティア活動に関心のある方、市内並びに近郊在住のシニアの方、お勤めされている方でおもちゃに関心があり、おもちゃドクターになって自分の持っている技術や経験を活かしたい方、お子さんのおもちゃを修理してみたいとお考えの保護者の方など（既講座でも女性の方の受講あり）。

定員：30人（先着順締めの切りとなりますのでご注意ください）

受講料：教材(教材費含む) ＊但しテキスト代のみ実費負担¥1,700.-必要

この事業は、財団法人長寿社会開発センターの助成金により運営されます。

講師：日本おもちゃ病院協会講師

＊おもちゃ病院協会に、壊れたおもちゃを安全に修理して新しい生命を甦らせる全国組織のボランティアグループです。  
現在400名を超えるおもちゃドクターが各地で活動をしています。



内容：おもちゃ修理の基礎学習、おもちゃ診断、テスター製作、おもちゃ修理実習など

＊実習ではおもちゃドクター必須テスターの製作  
＊女性の方でも出来る内容です

持ち物：筆記用具、プラスドライバー小型（正式名称0番）  
マイナスドライバー小型（先端の刃幅4ミリ以下）  
ピンセット、カッターナイフ、敷き布又は古タオル  
所持される方は（半田付け用具一式、回路テスター）



申し込み：至22年3月19日(金)までに下記へ住所、氏名、電話番号、テキストの要、不要を連絡して下さい。

お問い合わせ

申し込み先：FAX 09-7504-5000 おもちゃドクター養成講座係

この事業は、財団法人長寿社会開発センターの助成金により運営されます。  
高齢者の生きがいと健康づくりを目的としています。

# 携帯サイト委員会

- ・ 携帯サイトの立上げ
- ・ 地域高齢者支援NPO活動情報発信
- ・ イベント等参加者受信登録
- ・ イベント情報等更新

## 退職団塊世代が持つ情報受信システムの活用

### 情報発信

情報を必要とする方



携帯サイト

- 高齢者支援情報
- 他世代仲間づくり情報
- 子育て情報
- 地域交流情報
- NPO活動情報
- その他

### 画面詳細

もくじ

- 高齢者支援情報
- 他世代仲間づくり情報
- 子育て情報
- 地域交流情報
- NPO活動情報
- その他

-----  
NPO全日本企業福祉協会

クリック

- 他世代仲間づくり情報
- 趣味交流イベント情報
- 9月8日（金）  
市民センター
- 住民交流イベント情報
- 10月4日（月）  
公民館会議室

-----  
NPO全日本企業福祉協会

クリック

- 住民交流イベント情報
- 日程：10月4日（月）
- 時間：13時～
- 場所：公民館会議室
- 内容：世代を問わず地域  
のために協力でき  
ることの検討

参加

# 吹田市制70周年記念 日本・ハンガリー交流コンサート!



**ゲスト演奏**  
**ニヤリ キュラ (ピアノ)**  
 1941年、ドイツ出身。11歳で音楽院、15歳で、4手音楽院卒業後、3-4歳を中心に活躍。05年結婚を機に日本での演奏活動を始める。  
**ニヤリ みゆき (ソプラノ)**  
 兵庫県・西宮市出身。大阪音楽大学卒業。04年キュラの結婚を機にジューゼムアート・グレイスを設立。自らのコンサートをプロデュース。演奏活動を行っている。

とき 11月27日15:00開演(開場14:30)

ハンガリーの調べ(ピアノ)と日本の歌

NPO団体の紹介とビンゴゲームタイム

ところ 吹田市立豊一市民センター

吹田市垂水町1-53-7 電話06-6384-1290

府営路線江坂駅下車7分 阪急電車豊津駅下車10分



とき 12月5日15:00開演(開場14:30)

ハンガリーの調べ(ピアノ)と日本の歌

NPO団体の紹介とビンゴゲームタイム

ところ 吹田市立勤労者会館

吹田市昭和町12-1 電話06-6382-9101

JR吹田駅下車5分

入場料 無料 下記にてお申し込みください

申込方法 携帯電話のバーコードリーダー登録画面、または  
 FAX06-7504-5090まで、入場希望者のお名前を送信ください。



主催 特定非営利活動法人全日本企業福祉協会  
 国庫で活気づけられた地域作りに貢献するNPO活動を支援する吹田70コンサート委員会  
 吹田市垂水町1-39-20 コレト担当番連絡先090-8963-8724  
 後援 ハンガリー大使館  
 協力 NPO健康生きがいづくり教室

# EXPO40周年記念・伝えよう子供の遊びと再生

おもちゃドクター養成講座  
 1日目 おもちゃ修理の基礎知識  
 修理箇所診断・デスター製作  
 2日目 おもちゃ修理実践  
 修了者には日本おもちゃ病院協会の「おもちゃドクター養成講座修了証」を発行します

とき 12月11日(土)10:30~15:00

12月12日(日)10:30~15:00

ところ 万博記念公園内自然観察学習館

費用 教本代1800円

とき 2月5日(土)11:00~15:00

ところ 万博記念公園内自然観察学習館

自然観察学習館TEL06-6877-6923

費用 材料費1500円

親子からくり人形づくり教室

内容 からくり人形の原理を学習

からくり人形制作

とき 2月12日(土)11:00~15:00

ところ 万博記念公園内自然観察学習館

自然観察学習館TEL06-6877-6923

費用 材料費500円

親子からくり人形づくり教室

内容 間伐って何故必要なの

間伐材利用からくり人形制作

間伐材利用本製おもちゃ制作



モジュールでお越しの方  
 モジュール「万博記念公園駅」下車徒歩15分  
 「公園東口駅」下車徒歩25分  
 車でお越しの方  
 万博公園「日本庭園前駐車場」徒歩15分  
 「西第1駐車場」徒歩15分  
 「中央駐車場」徒歩15分

下記にてお申し込みください。各教室の詳細案内をお送りいたします。



申込方法 携帯電話のバーコードリーダー登録画面、または  
 FAX06-7504-5090まで、希望者のお名前・連絡先を送信ください。

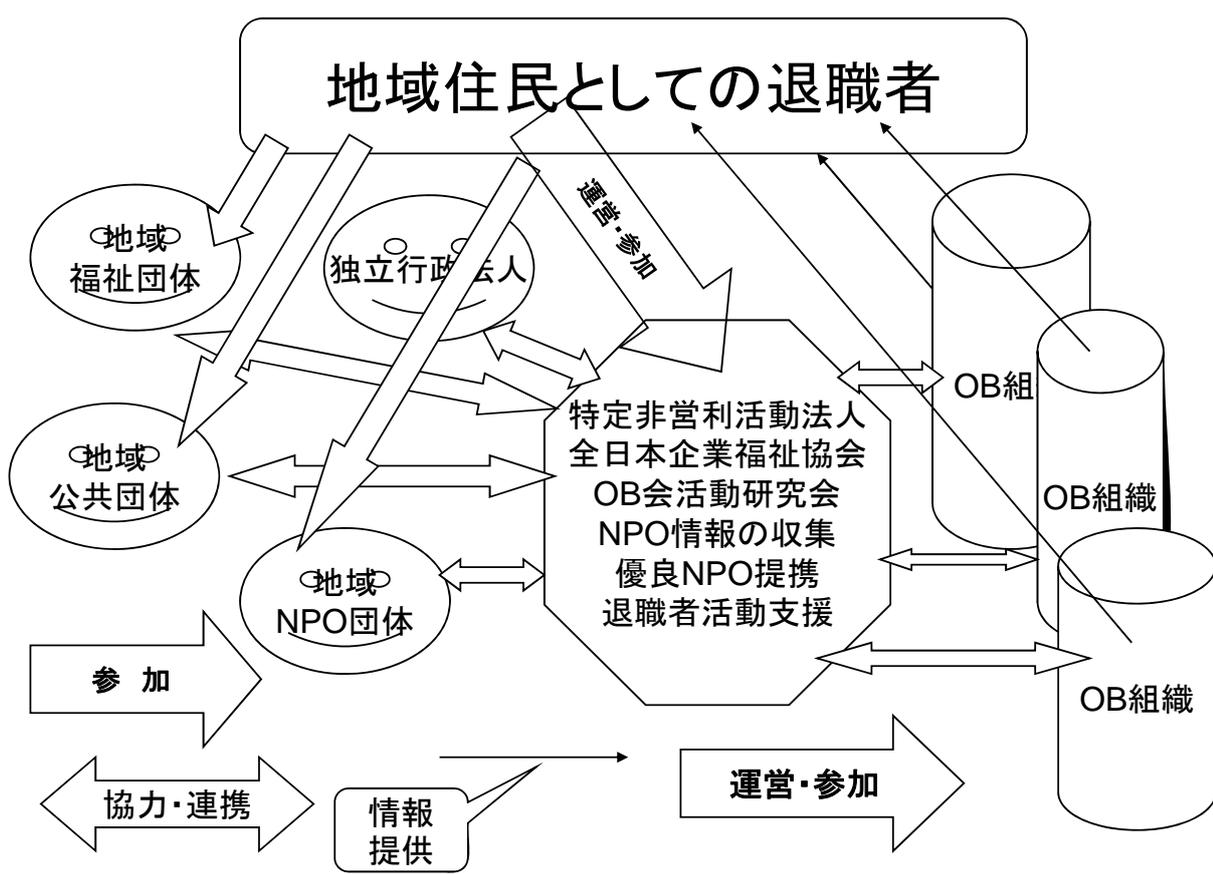
主催 特定非営利活動法人全日本企業福祉協会

吹田市垂水町1-39-20 担当番連絡先090-8963-8724



助成 独立行政法人日本万国博覧会記念機構

Supported by the Commemorative Organization for the Japan World Exposition 2020.  
 この場合同様、日本万国博覧会の収益を基にしています。





私たちの活動目標は、現在、地域で一生懸命活動されている先達のNPO等の活動が、より早く、より有効に必要な人たちに提供できるよう、退職団塊世代が支援できる環境づくりをすることにあります。

高齢者に喜ばれる仕組みは、子育て世代にも適用できると考えます。

みんなが幸せな社会になりますように

ありがとうございました。